

平成19年度 学校経営計画書及び学校評価計画書

1 教育目標

自ら学ぶ意欲を養い、不断の努力によって知性を磨く。
豊かな心をはぐくみ、誠実・清純な気風を養う。
部活動に励み、健全な心身の鍛練を図る。
郷土に誇りを持ち、時代に通じる人間を育む。
以上の目標を、普通コースと演劇コースの切磋琢磨の中で育む。

石川県立中島高等学校

校長 山口 嘉一

2 中・長期目標

(1) 学校の現状

本校は、平成12年度に演劇コースが新設され、過去5回の卒業生を送り出した。その間、地域の支援の元、町・市ぐるみの特色ある教育を展開し、大きな成果をあげている。本校の取り組みは生徒の「生きる力」育成に極めて効果的であり、21世紀の教育の在り方を示唆している。

しかし、能登地区の加速度的な生徒減少が教育活動の不活性化につながりかねず、大きな不安材料となっている。

また、この地において志願する生徒は、能力的にも多様化（意欲の無さも含む）しており、指導内容・方法の更なる見直しや教師の意識改革が喫緊の課題となっている。

さらに、地域における本校の役割を認識した上での、将来を見据えた学校経営が求められている。

(2) 生徒に関する中・長期目標

基礎基本を大切にし、自主学習の意欲と習慣を身につけさせ、一人一人の個性と創造性を伸ばす教育を目指す。

「明るさ」と「うるおい」のある生活の基礎を育て、豊かな人間性を育む。

スポーツや文化活動を盛んにして、健康や体力の増進に努め、明朗不屈の精神を培う。

郷土の文化や風土を生かしながら、広い視野に立って社会に貢献する人間を育む。

演劇教育を通じて自己表現力やコミュニケーション能力をみがき、人格形成と文化の創造に努める。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

多様化した生徒に対応するための教職員の意識改革と教育実践。

生徒たちの教育に責任を持てる教育力の育成。

教職員の教育秩序の確立と服務規律の遵守による校務の正常な運営。

家庭や地域社会から信頼され、共に生徒を育てることが出来る開かれた学校。

時代の変化に対応した、魅力ある学校づくりや教育システムの改善。

3 今年度の重点目標

基本的な生活習慣を確立し、人間としての正しい在り方や生き方を実現する。

基本的な学習習慣を身につけることで学習に対する意欲を高め、基礎基本の習得とともに発展的な学力も養う。

生徒の社会性や自立心を育て、進路意識の早期芽生えと適切な進路選択を実現すべく、効果的な進路指導を行う。

演劇教育を通して生徒の人間形成を図るとともに、本校における演劇教育の永続的実施が可能な組織作りを進める。